

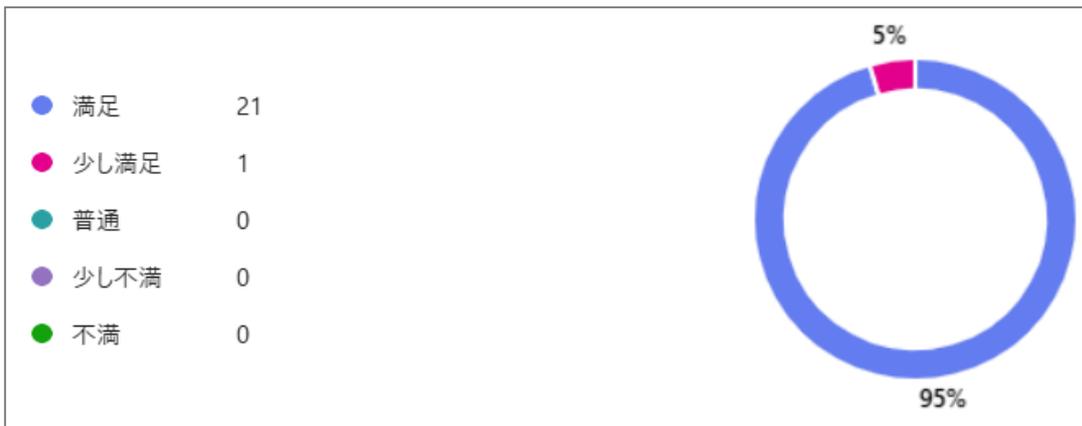
## 広島県大学図書館協議会 令和6年度第2回研修会 アンケート結果

研修会テーマ「大学図書館における電子書籍利用動向」

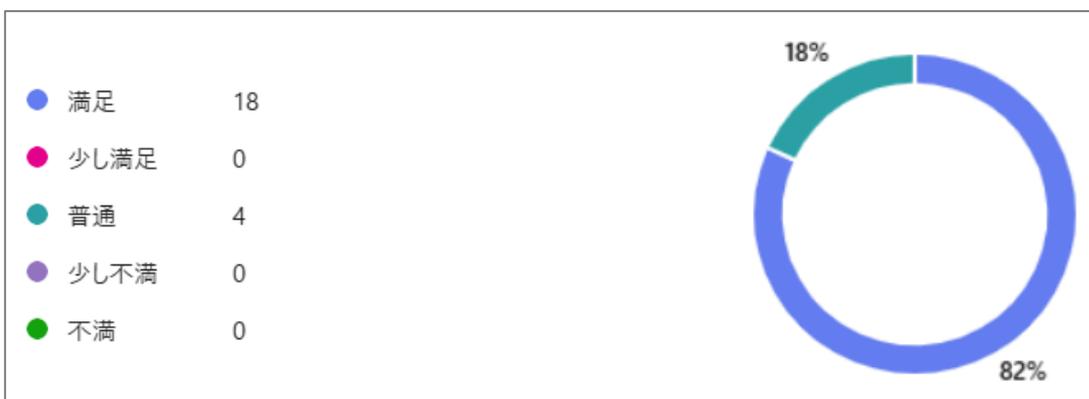
アンケート集計期間・回答者数

2月28日（金）～3月11日（火） 回答：22名

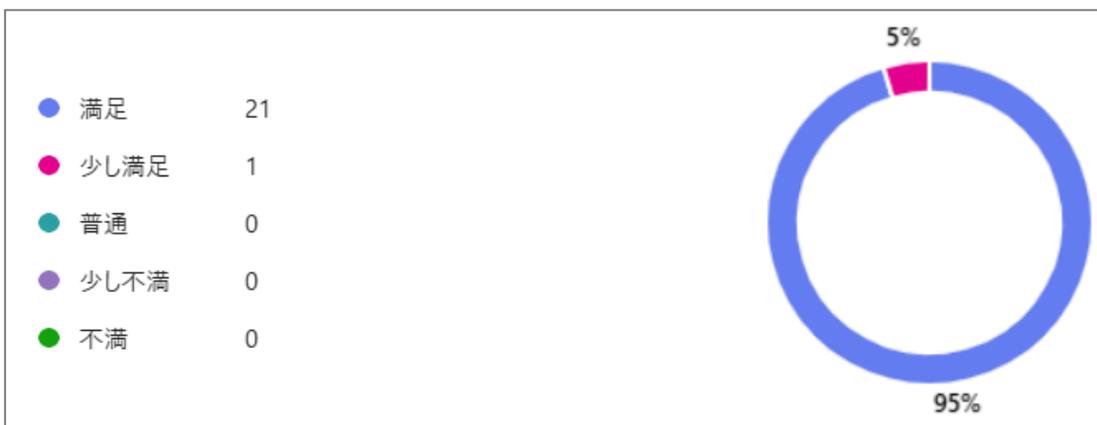
### 1. 開催方法（対面+オンライン）について



### 2. 研修会の時間配分について



### 3. 研修会全体の評価について



#### 4. 問3の評価の理由

- ・ 対面とオンラインのハイブリッド形式での開催は、オンラインで参加することができたので良かったです。
- ・ 時間配分も適切で、集中できました。また、休憩があり、最後まで十分に理解しながら参加できました。
- ・ 全体的に非常に充実した内容で、これからの業務の参考にしたいと思います。また、講師の説明が明確で、わかりやすかった点も大変良かったです。全体として非常に満足しています。
- ・ 本館でも喫緊の課題である「電子書籍」についてタイムリーに、非常に参考になるお話が伺えたこと。また、このことについて他大学の皆さんと情報交換できたことはとてもありがたかったです。
- ・ 大変勉強になりました。パネルディスカッションは立場の違いなどがよく分かり、メリットデメリット、それに対する課題などを具体的に理解することができました。
- ・ 今回の「電子書籍」というテーマもよく、大学図書館だけでなく丸善雄松堂様も参加しての研修会で有意義な研修会だったと思います。
- ・ 会場の反応を見ていると、充実した雰囲気を感じられました。パネルディスカッションも中身のある構成で時間が足りなくなるような盛況ぶりでした。
- ・ 講演・パネルディスカッション（立場の違うコメンテーター）と、バランスがとても良かったです。
- ・ コロナ禍以降の電子書籍の利用や電子書籍の選定など、今後の自館の取り組みに参考になりました。
- ・ 全体を通して、電子書籍の他大学の取組や出版社、ベンダーの現状など、幅広い視点で話を伺うことができ、大変参考になった。少しでも自館の取組に活かせるよう努力したい。

#### 5. 講演に関する意見・感想

- ・ ただ話を聞くだけではなく、グループワークによって他館の状況も聞くことができたし、普段関わりのない方と面識を持てたので良かった。講師の井上さんのお話が面白く、参考になった。
- ・ 井上様の講演は1つの事例として大変分かりやすく参考になりました。また、自分の今週の課題として「他の職員におすすめ電子書籍を聞いてみる」ということを設定してみました。伺った内容を他の職員と共有しつつ、複数人で色々な思いやアイデアを出し合ってみようと思います。
- ・ 資産価値のないものや買い切り以外のサブスクの導入など課題もあるが、利用者に必要な情報を提供する上で、電子書籍も選択肢に入れたサービスの重要性について学ぶことができました。

- ・ 図書館で従事しているとどうしても視野が図書館だけになりがちなので、書店や出版者も総じて win-win を想像してみよう、と仰られていたことについて、確かにと思いました。また、「次に向けて取り組むこと」をその場で決めたのが印象的でした。かなり小さい一歩ですが、電子書籍を使用感等を意識しながら利用してみるところからやってみようと思います。ありがとうございました。
- ・ 井上氏の言葉で「書店、出版者、ベンダー会社がそれぞれみんな図書館をつくるパートナー」という言葉が印象に残りました。
- ・ 井上さんのご講演では、話すだけでなくアイスブレイクや来週の日目標などを人に話す時間も設けていただきました。講演の構成まで考えられておられ、素晴らしかったです。
- ・ 電子書籍は今後購入が増え、運用を進めるにあたり課題が見えてくるかと思われます。それに対し、解決策となるような実例も聞くことができ、大変有意義な時間となりました。
- ・ 講演をお聞きして、電子書籍を扱う上での今後の取り組み方について大変参考になった。ブレイクアウトルームで他大学図書館の職員さんとお話することができ、それぞれ電子書籍の受入や活用について悩みを持っておられることがわかり、励まされた。

## 6. パネルディスカッションに関する意見・感想

- ・ 電子書籍について、さまざまな視点からの意見が交わされ、非常に興味深く学びの多い時間でした。書店、出版者、図書館員が、専門的な知識と実務経験に基づいて具体的な事例を挙げながら話してくださったため、理論だけでなく実際に役立つ情報を得ることができました。
- ・ 電子書籍について、図書館、版元、書店それぞれの立場での意見・課題などを分かりやすく把握でき大変勉強になりました。もっと聞きたかったです。
- ・ かなり多くの意見が聞けて、ボリュームがあった。事前に一部資料提供があったのもありがたかった。
- ・ 出版会・大学図書館・書店の様々な立場からの電子書籍のお話が興味深かったです。出版業界の大転換期という事や、教育現場でのデジタル化の流れ等も知るいい機会となりました。
- ・ 様々な立場の方に同じテーマで話をいただくというのは、意外にも今までの研修では経験がなかったので新鮮でした。
- ・ 図書館と出版社の視点から電子書籍のテーマを討論し、互いが WIN-WIN になるように、人と人とのつながりが重要だと再認識することができました。
- ・ 電子書籍のメリット・デメリットを知ることができた。電子一辺倒でなく利用者のニーズにあわせて電子と図書を勧めていきたいと思った。
- ・ 立場の違うコメンテーターのお話が聞けて、質の高さを感じました。井上先生が、みんな電子書籍の市場を作っていく仲間だとまとめてくださったのも、共感できました。

- ・ 三者からの視点で電子書籍の現状や展望を聞くことができ、勉強になりました。図書館だけでなく、書店、版元とともに歩むというバランスを個人的には考えられていなかったのも、もっと視界を広げていきたいです。
- ・ パネリストの異なる視点からの意見を聞き全員で考えていくことで、電子書籍の運用をこれまで以上に深く考えることができたと思います。
- ・ 電子書籍の現状を様々な立場から聞くことができ、自館の電子書籍の利用について、利用者が機能を十分に活用できる段階に至っていないことばかりに目が向いていたが、広い視野で状況を把握・分析することが必要だということに気付かされた。

## 7. 今後の研修会で取り上げてほしいテーマ

- ・ オープンサイエンスについて、研究データの取り扱いやオープンアクセスポリシーなど、何に焦点を当てて策定、処理すべきか、他館様の情報を知りたい。また、消耗雑誌の取り扱いや電子化についても知りたい。
- ・ 図書館の業務が割と煩雑かつ、ルールが細かいと感じています。少人数での業務分担をどのように行うか（現状はカウンターはシフト制、図書受け入れは種別・・・と縦割り？）お聞きしたいです。また、選書～発注～支払いまで DX しておられる場合はその流れが知りたいです。
- ・ 生成 AI、ビジネススキル系（時間管理や業務の効率化など）
- ・ 他部署との連携。図書館の仕事は、他部署の事務職員の方々にはあまり知られておらず（逆もまたしかりですが）、図書館では当たり前のことが事務の方に通用せず、うまく協力・連携が取れないこともあるため。
- ・ 資料の貸出数やデータベースの利用実績を上げる工夫等
- ・ 著作権問題。利用促進活動につかうポスターを作成するときに、インターネットの無料イラストを使ってもよいのか、よくわからないため。
- ・ オープンアクセスに関連する動向など
- ・ オープンアクセス支援
- ・ データベース等文献検索の講習会の内容や運営について
- ・ 効果的な展示と POP の作り方

## 8. その他、感想や意見など

- ・ 久々の対面での研修会参加で、とても楽しく過ごすことができました。同時に、大変勉強になりました。運営に携わられた方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・ 第1回目もとても勉強になりましたが、今回は感動すら覚えました。
- ・ 他大学の状況などを担当者レベルで、ざっくばらんに話すことができとても有意義な時間でした。事務局の皆様運営ありがとうございました。

- ・ 久しぶりに対面の研修会に参加することができ、他大学の取り組みや今後の電子書籍の取り組みについて学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・ 今回の研修会を受け、電子書籍はなぜこんなに即効性を求められているのかなあ、紙の本も電子書籍も本来は「利用率をあげるため」ではなく「研究等に役立てるため」に所蔵しているはずだし、と思っていました。そもそも誰がいつどの資料を閲覧するかは分からず、だからそのために図書館は準備しておく必要がある、図書館は利用者の「知りたい」のためにある、というのが本質であるはずですが。「電子書籍はあまりみてもらえないから数年で利用をやめようね」というのは、あまりにもかんたんで、図書館にあるあらゆる資料にとっても否定的な考え方になってしまうなあと感じました。そこを防ぐためには、もちろんこれまでどおり利用促進や運用等は積極的に進めていきながら、ほかにも、事務局（図書館に直接属していない人たち）の理解もより進めていかなくてはいけないのかなあと感じました。
- ・ 登壇者の皆さま、委員の皆さまお疲れさまでした。ありがとうございました。おかげさまで素敵なお縁をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。
- ・ ご多用の中、研修会開催にあたって、準備などで大変だったと思います。本当に有り難うございました。